

令和7年第3回伯耆町議会定例会

一般質問通告書

令和7年6月12日該当日

目次

1. 長谷川 満 議員 (7 番)	-----	2
2. 埴田 信二 議員 (1 番)	-----	3
3. 森下 克彦 議員 (6 番)	-----	4
4. 渡部 勇 議員 (1 0 番)	-----	5
5. 其山 守美 議員 (2 番)	-----	6
6. 杉田 真也 議員 (3 番)	-----	8
7. 大床 桂介 議員 (4 番)	-----	9
8. 乾 裕 議員 (9 番)	-----	1 0

2. 埜田 信二 議員 (1番)

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
1.万が一の災害に備えた町の動きは	<p>7月から10月にかけては、一般的に台風が多く発生する時期で、中でも8月から9月にかけては発生数と接近数が多い時期と言われている。災害が多く発生する可能性がある時期を迎えるのにあたり、町長に以下の点を伺う。</p> <p>(1) 災害時における防災体制の整備や運用など、行政が果たすべき役割について伺う。</p> <p>(2) 災害対策基本法に基づき、伯耆町防災会議条例が定めてあるが、伯耆町地域防災計画改定にあたり、その体制とスケジュール、見直しの主なポイント等について伺う。</p> <p>(3) 万が一の災害発生時に備え、災害対策本部の設置・運営に関する訓練を実施する考えはあるか、町としての考えを伺う。</p>	町 長
2.懇談会で寄せられる住民の声をどう町政に活かすか	<p>5月に実施された区長協議会でも説明があったが、6月中旬から町民との懇談会を開催するとのことだが、以下の点についての考えを伺う。</p> <p>(1) 対象を町民全般、18歳から40歳代、集落・団体向けと大きく3つに分けているが、その狙いとは。</p> <p>(2) 懇談会の内容は大部分が意見交換のようだが、テーマは役場側が設定するのか。</p> <p>(3) 懇談会で住民から上がった意見の対応は。</p> <p>(4) 懇談会での意見を議会と共有する考えはないか。</p>	町 長

3. 森下 克彦 議員 (6番)

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
1. 物価高騰対策について	<p>(1) コメを始めとする諸物価高騰が町民の暮らしに大きな影響を与えている中、令和7年5月実施の時事通信社の世論調査によれば、消費税の減税・廃止を求める声が7割を占める状況となっている。この消費税の減税・廃止を求める声が多いとの世論についての見解を伺いたい。</p> <p>(2) 町民の暮らしを守る考えのもと、国に対して物価高騰対策の一策として消費税を減額する政策を要求することは適切なものと考えているが、基礎自治体の町長として、町民の暮らしを守る立場から、消費税を減額する要望を国へ届けていただきたいがいかがか。</p>	町 長
2. 大型風力発電事業計画について	<p>伯耆町を含む南部町、日野町、江府町の4町にまたがり、山の尾根附近に高さ150mの大型風力発電機34基を設置する事業計画がある。</p> <p>この事業について、事業者は地元地区の同意、事業予定地所有者の地上権設定の同意を得られつつあるが、一方</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 低周波の発生による住環境の悪化の恐れ。 ② 山林伐開等による自然環境の悪化の恐れ。 ③ 事業予定地は、風化が進む花崗岩地帯であるが、豪雨等の影響により、切土・盛り土後の土砂崩れ等が発生した場合の復旧に際して、復旧費用負担応能の問題が生じるのではないか。 <p>などの大きな懸念があり、この計画に反対する町民の声がある。</p> <p>町として、この事業については、「伯耆町開発事業指導要綱」に基づき対応されると思うが、このような動きがある中で、町長のこの事業計画に対する見解を伺いたい。</p>	町 長

4. 渡部 勇 議員 (10番)

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
1. これからの伯耆町政 について	<p>人口減少が続くなか、地域の未来にとって重要な役割を担う町長として、町民の皆さんや議会の思いを受けて課題が山積みの本町では、大きな決断をして、新しいことに着手する必要があると考えるが町長の思いについて、次の点を伺う。</p> <p>(1) 人口減少は重要課題と思うが「子ども達への投資は、未来の投資」と公約にある。 子ども時代に町を変える体験が重要と考える。その体験が大人になって伯耆町の持続可能な町づくりを担う人材となりうるが町長の考えは。</p> <p>(2) 県は、空き家化を防ぐ目的で多世代同居について市町村を通じて支援する全国で初の制度を開始した。伯耆町は、この制度への対応を含め、今後、空き家対策をどう進めていくのか。</p> <p>(3) 若者世代の流出を防ぐため通勤圏の拡大、例えば米子道・山陰道の無料化、通勤パス(高速道路)の助成など、生産人口を増やす支援策は。</p>	町 長

5. 其山 守美 議員 (2番)

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
1. 人口動態から見える 伯耆町の課題について	<p>鳥取県の人口が53万人を割ったという報道が今年の年頭にあり話題となった。伯耆町でも人口が1万人を割る日が目前に迫っている。人口動態から見える伯耆町の課題について町長の所見を伺う。</p> <p>(1) 伯耆町は、2005(平成17)年の合併から今年で20年を迎えた。合併当初の人口は12,603人(2005.4.1時点)であったが、現在は10,090人(2025.4.1時点)であり、この20年間で人口の約2割、2,513人が減少している。町独自で推計している20年後(2045年)の伯耆町の人口は7,552人と推計されている。歯止めがかからない伯耆町の人口減少傾向について所見を伺う。</p> <p>(2) 人口減少傾向を地区別にみると、次のとおりである。</p> <p>八郷 : 1,562人(2025年) - 1,827人(2005年) = △265人(△14.5%)</p> <p>大幡 : 2,106人(2025年) - 2,352人(2005年) = △246人(△10.5%)</p> <p>幡郷 : 2,997人(2025年) - 3,126人(2005年) = △129人(△4.1%)</p> <p>二部 : 828人(2025年) - 1,375人(2005年) = △547人(△39.8%)</p> <p>溝口 : 2,186人(2025年) - 3,251人(2005年) = △1,065人(△32.8%)</p> <p>日光 : 411人(2025年) - 672人(2005年) = △261人(△38.8%)</p> <p>八郷・大幡・幡郷地区の人口減少率は約1割前後だが、二部・溝口・日光地区は3割から4割近い厳しい減少率であることについて所見を伺う。</p> <p>(3) 一方、この20年間の年代別の人口動態をみると、</p> <p>65歳以上 : 4,119人(2025年) - 3,485人(2005年) = 634人(18.2%)</p> <p>14歳以下 : 1,148人(2025年) - 1,534人(2005年) = △386人(△25.2%)</p> <p>中でも、65歳以上の増加率が高かったのは、幡郷350人(52.2%)、八郷194人(39.0%)、大幡147人(26.4%)である。14歳以下の減少率が高かったのは、日光△47人(△74.6%)、二部△77人(△55.0%)、溝口△196人(△52.5%)となっている。【以上、別表P11を参照】</p> <p>人口が減少する中でも、65歳以上の高齢者は増えているが、14歳以下の減少率は高く、少子高齢化が一層進んでいることについて所見を伺う。</p>	町 長

<p>2. 移住・就労支援と空き家の効果的な活用について</p>	<p>町長は、施政方針に『人づくりは、町づくり、町づくりは、未来づくり』～人口減少の抑制を町づくりの成果指標とし、人口減少を抑える総合的な施策を実施し、町の誇りを次の世代につなぐ～を掲げている。農山村部を中心に急激な人口減少が進む伯耆町では、生産年齢人口（15～64歳）減少を抑制するためにも、移住・就労支援に力を入れていくことが有効と考える。3月議会で町長が示された構想等について具体的に伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①空き家バンクのデジタル化 ②農業への就労支援 ③おためし移住、交流会 ④地域活性化団体との協働 ⑤移住コーディネーターの配置 	<p>町長</p>
<p>3. 公民館の振興方策について</p>	<p>公民館は、社会教育法に位置付けられた社会教育施設であり、地域における生涯学習や文化の振興とともに地域活性化や交流の拠点でもある。人口減少を抑制し地域の活性化を図っていくためにも、公民館機能の一層の充実が求められる。伯耆町における公民館の振興方策について教育長に伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 伯耆町における今後の公民館の振興方策について (2) 八郷地区には現在、公民館が設置されていないが、かつて八郷小学校に設置されていた東公民館は復活できないか。 (3) 建築から51年が経過した二部公民館については、昨年9月の全員協議会で、「小学校と公民館の複合化は行わず、当面は現在の施設を修繕しながら使用することとしたい」と報告があった。二部公民館の今後の振興方策について伺う。 	<p>教育長</p>

6. 杉田 真也 議員 (3番)

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
1. 公用車のテレビ付きカーナビ NHK 放送受信料について	<p>自治体の管理している公用車でテレビ付きカーナビでの NHK 放送受信料の未契約が相次ぎ発覚している。本町では該当する公用車は5台あり、すでに受信契約を交わし NHK 放送受信料は支払っている。</p> <p>未契約が発覚した自治体では NHK 放送受信料を支払わない方向への対策を検討されている。</p> <p>本町での公用車へのテレビ受信、NHK 放送受信料の必要性について、また今後の方針についての考えを伺う。</p>	町 長
2. 害獣対策について	<p>近年、獣害による農作物、農耕地への被害が増加している。イノシシによる田圃のけたを掘り返された事例が今年が多かったと報告がある。</p> <p>(1) 令和5年度までは、3月の捕獲許可は猟友会全員の方に下りていた。令和6年度からは3月の捕獲許可は猟友会の指名体員のみに変更された。3月の捕獲許可の考え方について伺う。</p> <p>(2) 近隣の自治体では、農林産物の被害を予防し、経営安定を図るため、狩猟期間及び、狩猟期間外全てに捕獲奨励金を出して運用しているところもある。捕獲奨励金は、イノシシの場合、成獣、幼獣共に15,000円としている。本町の場合、成獣12,000円 幼獣8,000円である。幼獣を捕獲しても捕獲奨励金が少ないので、幼獣は捕獲しないケースが多々あるようだ。幼獣の期間に捕獲すれば被害は低減されるのではないかと思われる。対象期間を延長し、捕獲奨励金を同額にされるのはどうか、見解を伺う。</p> <p>(3) 捕獲した害獣は、猟師さんにより埋設か解体されている。埋設の場合は他の害獣を寄せ付ける原因になる場合もある。また、自身で穴を掘り埋設しなければならない為、大きな穴を掘る必要のあるシカは捕獲しないと聞いている。近隣自治体で運営されている獣肉解体処理施設と連携する事により、捕獲した害獣は施設より直接出向して射し、キロ単価での買い取りも可能な様である。猟師さんの労力低減を図り、捕獲した害獣の有効活用に繋がればと考える。その様な方法を模索される考えはあるのか見解を伺う。</p>	町 長

7. 大床 桂介 議員 (4番)

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
1. 伯耆町町営公園墓地 の運営について	<p>人口減少や少子高齢化、家族構成の変化に伴い、墓の承継や管理が困難となる事例が全国的に増加している現状である。こうした背景を踏まえ、町民の安心につながる墓地運営の在り方について町長に問う。</p> <p>(1) 町が運営する公園墓地の設立経緯、町が運営する意義について伺う。</p> <p>(2) 町営公園墓地の契約件数の推移、経営状況、現状の課題について伺う。</p> <p>(3) これまで契約された方で、墓じまいをされたケースはあるか。また、理由は。</p> <p>(4) 墓の継承者の把握と墓の管理状況について伺う。</p> <p>(5) 町民の町営公園墓地のあり方に対する要望などはこれまであったか。また、ニーズ調査はおこなったことがあるか。</p> <p>(6) 継承者が管理する必要のない合葬墓、共同墓の考えはないか。</p>	町 長

8. 乾 裕 議員 (9番)

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
1. 溝口地区内に子育て世帯向け町営住宅整備を	伯耆町の合併当初(平成17年)の人口は12,603人であったが、直近のデータでは10,090人となった。2,500人以上も減少している。人口減少を抑える総合的な対策が急務であることは論を待たない。特に旧溝口町の実態は深刻である。一刻の猶予もない。空き家も目立つようになった。子育て世帯向け町営住宅を可能な限り建設し定住人口の増加を図っていくべきと考えるが町長の所見を伺う。	町 長
2. 旧日光小学校(現日光公民館)の空き教室の利活用について	2016年に伯耆町立溝口小学校と統合し閉校されているが、空き教室の利活用については全く手が付けられていないと承知している。新生溝口小学校は間もなく開校10周年を迎える。一方の旧日光小学校の空き教室の利活用について町長の所見を伺う。	町 長
3. 第7回ガソリン等購入助成券配布事業について	今般の物価高の流れは当面の間続くものと推察される。お米は一年前の2倍になるなど町民生活に対する家計支援が急務と考える。第7回ガソリン等購入助成券配布事業を実施する考えはないか町長の認識を伺う。	町 長

其山 守美 議員（2番） 資料

地区別人口動態（各年4月1日時点の住民基本台帳人口※）

地区	2005年(平成17年)①			2025年(令和7年)②			増減(②-①)		
	人口	65歳以上	14歳以下	人口	65歳以上	14歳以下	人口	65歳以上	14歳以下
八郷	1,827人	497人	201人	1,562人	691人	143人	△ 265人 (△14.5%)	194人 (39.0%)	△ 58人 (△28.9%)
大幡	2,352人	556人	299人	2,106人	703人	320人	△ 246人 (△10.5%)	147人 (26.4%)	21人 (7.0%)
幡郷	3,126人	670人	458人	2,997人	1,020人	429人	△ 129人 (△4.1%)	350人 (52.2%)	△ 29人 (△6.3%)
二部	1,375人	511人	140人	828人	445人	63人	△ 547人 (△39.8%)	△ 66人 (△12.9%)	△ 77人 (△55.0%)
溝口	3,251人	991人	373人	2,186人	1,020人	177人	△ 1,065人 (△32.8%)	29人 (2.9%)	△ 196人 (△52.5%)
日光	672人	260人	63人	411人	240人	16人	△ 261人 (△38.8%)	△ 20人 (△7.7%)	△ 47人 (△74.6%)
合計	12,603人	3,485人	1,534人	10,090人	4,119人	1,148人	△ 2,513人 (△19.9%)	634人 (18.2%)	△ 386人 (△25.2%)

※平成17年は外国人は住民基本台帳法の適用対象外だが、比較のため外国人を含めて集計している。(平成24年改正法施行)